

### 3年理数科学科発展探究発表 報告

◇期 日： 令和4年6月22日(水) 13:30～15:35

◇場 所： 至誠ホール

◇発表者： 3年理数科学科生徒63名

◇参加者： 3年人文社会科学科生徒16名、

県内のALTの先生方、

国際交流に従事されている方々、

本校各教科教員



県内高校のALTや富山県国際交流員9名を外部評価者としてお招きし、昨年と同様、ポスターセッション式の発表から質疑応答に至るまで全てを英語で行った。

2年生のときに始まった発展探究の集大成となるこの行事に向けて、ポスターや原稿、要旨を準備してきた。英語で、しかも自分たちの研究した分野について詳しくない人への発表だったので、専門的な難しい用語を平易な英語の表現に言い換えることに苦労した。また、伝えたい事象を一番的確に表す単語や表現はどれかについて、班員と推敲した。ポスターは一目見ただけでも伝わる分かりやすさが求められ、図やグラフを使ったり、伝える情報を絞ったりする工夫もした。

発表の練習にあたり、この発表会にも参加された県内高校のALTや富山県国際交流員の方々にご指導いただいた。その際の助言は英語の発音や話し方、目線などのプレゼンで気を付けるべき点だけではなく、内容に至るまで様々な観点にわたった。これをふまえて生徒は、発表を改善することができた。

本番では、慣れない英語での発表に緊張したが、目の前の人に自分たちの成果をうまく伝えられるように最善を尽くした。鋭い質問にとっさに返答できないこともあったが、班員同士が助け合い、相手が納得する答えを返すことができた。また、新たな視点を得て、考えをさらに深められた。他の班の発表を聞き、疑問に思ったことについて英語でなんとか質問を絞り出し、相手が答えてくれたときは嬉しかった。

発表を終えて、他人に伝える難しさを改めて感じた。英語は日本語と勝手が違い、言いたいことを即座に適切な表現で言うのはとても難しかった。また、自分が言ったことが相手に本当に伝わっているのか分からない状態で発表し続けるのは、不安だった。しかし、うまく伝えられたときは、その分達成感が強かった。始まる前は原稿を覚えられるか不安げだった生徒も自分の言葉にしてしっかりと話しており、途中から参加した人文社会科学科の生徒も交えて、生徒間でも意欲的に意見交換が行われている様子が見られた。本発表会は探究活動の集大成としてふさわしい会になったと思う。

最後になりますが、今までの探究活動に関わってくださった方々にこの場を借りて感謝申し上げます。